



SASAKICUP 第21回全日本新体操ユースチャンピオンシップ
第14回男子新体操団体選手権大会
要 項

主催:公益財団法人 日本体操協会 特別協賛:株式会社ササキスポーツ
主管:東京都体操協会/協賛:株式会社ポーラ、伊藤超短波株式会社

1. 期日 2023年5月26日(金)~28日(日)

5月25日(木)	セッティング/審判研修/代表者会議(参加団体)
5月26日(金)	女子個人総合選手権予選/男子個人総合選手権予選
5月27日(土)	女子個人総合選手権予選/男子個人総合選手権決勝/男子団体割り当て練習
5月28日(日)	女子個人総合選手権決勝/男子団体選手権

2. 会場 東京体育館 〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 1-17-1 TEL 03-5474-2112(代表)

3. 出場資格と条件

- ① 2023年度、(公財)日本体操協会に選手登録した者とします。
- ② 各都道府県及びブロックの予選は行わず、下記の条件を満たした者に出場資格を与えます。
- ③ 女子選手は2023年4月2日現在に高校1年生から高校3年生の者とします。
- ④ 女子選手は(公財)日本体操協会より推薦された者の出場もあります。
- ⑤ 男子個人選手は2023年4月2日現在に中学2年生から高校3年生の者とします。
- ⑥ 男子新体操団体選手権出場者は2023年4月2日現在に小学4年生から高校3年生の者とします。
- ⑦ 出場所属団体名の記載は2所属*1まで可能とします。

4. 競技種目と競技方法

① 競技種目

	個人総合選手権	団体選手権
女 子	予選:クラブ・リボン/決勝:フープ・ボール	徒手
男 子	予選:クラブ・スティック/決勝:リング・ロープ	

- ② 個人総合予選は女子クラブ・リボン(2024年度高体連種目予定)、男子クラブ・スティックの2種目を演技し、その得点合計により上位者から女子最大40名、男子最大20名までを決勝進出者とします。
- ③ 個人総合決勝は女子フープ・ボール、男子リング・ロープの2種目を演技し、予選からの4種目の得点合計により順位を決定します。
- ④ 決勝への通過にあたり同点の場合は、女子はFIG競技規則に準じタイブレークを行います。男子は国内競技規則第32条に準じタイブレークを行います。
- ⑤ **個人競技予選の試技順は参加所属ごとの編成となります。また、所属先事情による試技順の変更は認めません。**

5. 採点規則

[女 子](公財)日本体操協会 新体操女子2022-2024年版採点規則を採用します。

[男 子](公財)日本体操協会 新体操男子2022年版採点規則を採用します。

6. 表彰

個人総合選手権 1位 優勝杯・メダル・賞状/2位・3位 メダル・賞状/4位~8位 賞状
男子団体選手権 1位 優勝杯・メダル・賞状/2位・3位 メダル・賞状/4位~8位 賞状

※ 同点は同順位として表彰します

7. 第76回全日本新体操選手権大会への出場資格について

〔男子個人〕個人総合選手権上位6名までの選手に出場資格を与えるものとします。但し、すでに出場資格を得た選手が該当した場合は、下位の選手に繰り下げて出場資格を与えるものとします。

〔女子個人〕個人総合選手権上位10名までの選手に出場資格を与えるものとします。また、前年度の全日本選手権大会での個人総合上位15名までの選手が出場権を獲得した予選競技会に対して出場権が配当されるため、今年度は6名を追加して上位16名までの選手に出場資格を与えるものとします。

〔男子団体〕上位3位までのチームに出場資格を与えるものとします。

※全日本選手権参加規程により、中学1年生以下の選手は出場権を獲得しても全日本選手権に参加することはできません。中学1年生以下の選手が出場権を獲得した場合、そのチームは中学2年生以上のメンバーだけで構成されたチームに変更することとします。変更が不可能な場合は出場権を失うこととなります。

8. 参加料 個人競技 10,500 円 団体競技 30,500 円

※日本著作権協会(JASRAC)規定による著作権料負担金を含みます。

9. 参加申込

① 締切期日 2023年4月18日(火) **17時59分まで**

② 申込方法 web 登録ページ (<http://jga-web.jp/>)にて手続きを行って下さい。

注意:参加料ご入金をもって申込完了となります。 Mail:shintaiso@jpn-gym.or.jp(平日10時~18時)

☆ 注意 ☆ 試技順抽選終了後の棄権については、参加料は返金いたしません。
振り込み控え書は各所属で大切に保管して下さい。

10. 試技順抽選について

抽選日 :2023年4月21日(金)

※ **全ての試技順抽選は参加申込み時に大会本部へ委任したとし、大会本部((公財)日本体操協会)のみで実施します。**

11. 運営に関する事項について

① 競技時程及び練習時程については、試技順抽選後に詳しくお知らせします。

② AD(Accreditation)カード*2は、大会関係者全てに発行されます。

③ 伴奏音楽について

演奏方法 :伴奏曲の演奏はCDとします。(必ず予備を用意して下さい)

再生機器 :伴奏音楽再生機器は大会本部が用意したものを利用して下さい。

④ 炭酸マグネシウムについて

各所属で持参した炭酸マグネシウムは、会場内の指定された場所にて使用して下さい。

⑤ 部旗・応援旗の掲示について

会場内掲示の旗は各所属1枚とし、その大きさは最大4㎡とします。また体育館側より「広告」と判断された応援旗につきましては広告料が発生しますので、大会本部・体育館・諸団体とで話し合い、処理させていただきます。なお、掲載方法については、試技順抽選終了後に連絡します。

12. 大会保険ならびに大会期間中の怪我について

① 協会の費用負担にて、参加選手に対して大会期間中(競技終了まで)スポーツ傷害保険をかけます。

② 発生した傷害の補償についてはスポーツ傷害保険の範囲とします。

③ 競技中の疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行いますが、その他の責任は負いません。

④ 大会参加者は健康保険証を持参して下さい。

13. その他

① 演技写真・映像撮影およびSNSによる広報活動について

- (ア) 本大会は記録のため、写真と映像を撮影します。本協会が定める競技者規定第8条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとし、本協会指定の写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。これらの行為に対し大会期間中、総務委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。
- (イ) プライバシー保護の為、所属団体による写真、ビデオ、携帯カメラ等電子機器での撮影は全面禁止します。ただし、公式練習中に限り演技のチェックとしてのビデオ撮影ができます。撮影はアリーナ内のみとし、観客席からの撮影は禁止とします。なお、撮影者はADカード保持者のみとし、保護者などによる撮影はできません。撮影した写真・映像をインターネットなどへ掲載するなどの二次利用を禁止します。
- (ウ) 競技普及や体操への人気拡大の目的で、本協会が定めるソーシャルメディア運用管理規定に基づく画像、映像の撮影やインタビューを依頼することがございます。撮影した画像、映像は協会ソーシャルメディア(公式HP、Twitter、Facebook、Instagram)に掲載いたします。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。また、大会期間中、広報委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。

② 所属の車両乗り入れについて

本大会は出場選手の輸送などを目的とした各所属の車両乗り入れはできません。

③ 新型コロナ感染症対策が講じられた時は、ガイドラインに準じます。また状況により大会に変更が生じる場合があります。

付 録

* 1. 2所属記載の注意事項

(1) 学生(大学生・高校生以下)の**個人競技**参加者は出場資格を得た大会に関わらず、所属名を「学校名」または「クラブ名」のどちらかを選択できます。

- ① 大学・高校等とクラブで協議のうえ、両所属の承諾を得ることとします。
- ② 登録時に双方の所属に選手登録をしておいて下さい。登録の確認ができない場合は2所属表記できません。

※本協会への登録窓口となっている各都道府県体操協会登録窓口では、複数登録が可能となっています。

(2) (1)における所属の双方を表記することが可能です。

- ① 文字数に制限のある場合(競技帳票・得点表示板・場内放送や中継等における選手紹介・アナウンスポンサーによる肖像使用等)に優先的に表記する所属を申告して下さい。
- ② ①における制限に対し、/で区切り、合計12文字以内の略称を申告することが可能です。競技帳票・場内表示等に使用します。例:〇〇〇〇クラブ/□□高校
- ③ このほか制限が生じる場合、優先する表記を本協会と参加者合議の上決定します。

(3) 申し込み完了後の選手変更は原則出来ません。

* 2. ADカードの発行とゾーニング

(1) 参加申込時に申請された選手・監督・コーチ・音楽係・トレーナーにのみADカードを発行しますので、会場では必ず見える位置に着用して下さい。

(2) ADカード使用に際しては、不正使用のないようにして下さい。

(3) ADカード発行者の**大会当日変更(例:コーチ変更)は認められません。**何らかの事情が生じ、変更が必要となった場合は、大会本部が定めた期限内(大会開催前)に理由を添えて申請して下さい。

(4) 各所属へのADカードの発行枚数と条件は、以下の通りとします。

〔個人競技:発行枚数と条件〕

役 職	配布枚数	備 考
監督	1枚	<ul style="list-style-type: none"> ● 「監督」とはチームの引率責任者のことです。 ● (公財)日本体操協会に指導者登録を完了した方のみに発行します。 ● 大会期間中は選手団席以外のエリア※に入ることができません。 ● コーチ申請も可能です。 <p>※選手団席以外のエリアとは、競技エリア(メインアリーナ)・練習会場(サブアリーナ)・ウォーミングアップ会場のことです。</p>
コーチ	1枚~数枚 最高個人出場選手数分まで	<ul style="list-style-type: none"> ● 「コーチ」とは帯同コーチ(各選手指導者)のことです。 ● (公財)日本体操協会に指導者登録を完了した方のみに発行します。 ● 申請できるコーチは選手1名につき1名までとします。 ● 公式練習時は競技エリアに入ることができます。 ● 競技中は競技エリア外(フェンスなどがある場合はフェンスの外側)まで入ることができます。
選手	出場人数分	<ul style="list-style-type: none"> ● 出場選手全員に発行します。
音楽係	1枚または2枚 同所属で複数選手が出場する場合は2枚	<ul style="list-style-type: none"> ● 練習会場(サブアリーナ)に入場することができます。 ● 公式練習時及び競技中は競技エリア外(フェンスなどがある場合はフェンスの外側)と音楽席に入ることができます。 <p>※所属の音楽係を帯同しない場合は、コーチ AD または選手 AD を着けた者が音楽をかけることができます。</p>
トレーナー	1枚 ※要申請	<ul style="list-style-type: none"> ● 申込み受付時に申請のあった場合のみ、発行します。 ● 競技中は競技エリア外で待機して下さい。 ● 治療などを要する場合は競技エリア内に入ることができます。

〔各エリア(会場)における入場人数制限〕

競技エリア(メインアリーナ) [男女共通]選手1名、コーチ1名、音楽係1名の3名以内

※チームトレーナーは、トレーナー待機エリア内にて待機

練習会場(サブアリーナ) [男女共通]選手1名、コーチ1名、トレーナー1名、音楽係1名の4名以内

ウォーミングアップ会場 [男女共通]選手1名、コーチ1名、トレーナー1名の3名以内

【団体競技:発行枚数と条件】

役 職	配布枚数	備 考
監督	1枚	<ul style="list-style-type: none"> ● 「監督」とはチームの引率責任者のことです。 ● (公財)日本体操協会に指導者登録を完了した方のみに発行します。 ● 大会期間中は選手団席以外のエリア※に入ることができません。 ● コーチ申請も可能です。 <p>※選手団席以外のエリアとは、競技エリア(メインアリーナ)・練習会場(サブアリーナ)・ウォーミングアップ会場のことです。</p>
コーチ	最高2枚まで	<ul style="list-style-type: none"> ● 「コーチ」とは帯同コーチ(各選手指導者)のことです。 ● (公財)日本体操協会に指導者登録を完了した方のみに発行します。 ● 申請は、団体1チームにつきコーチ2名までとします。 ● 公式練習時は競技エリアに入ることができます。 ● 競技中は競技エリア外(フェンスなどがある場合はフェンスの外側)まで入ることができます。
選手	出場人数分	<ul style="list-style-type: none"> ● 補欠選手を含め、出場選手全員に発行します。
音楽係	1枚	<ul style="list-style-type: none"> ● 練習会場(サブアリーナ)に入場することができます。 ● 公式練習時及び競技中は競技エリア外(フェンスなどがある場合はフェンスの外側)と音楽席に入ることができます。 <p>※所属の音楽係を帯同しない場合は、コーチ AD または選手 AD を着けた者が音楽をかけることができます。</p>
トレーナー	1枚 ※要申請	<ul style="list-style-type: none"> ● 申込み受付時に申請のあった場合のみ、発行します。 ● 競技中は競技エリア外で待機して下さい。 ● 治療などを要する場合は競技エリア内に入ることができます。
<p>【各エリア(会場)における入場人数制限】</p> <p><u>競技エリア(メインアリーナ)</u> [男子]選手8名以内、コーチ最大2名、音楽係1名の11名以内 ※チームトレーナーは、トレーナー待機エリア内にて待機</p> <p><u>練習会場(サブアリーナ)</u> [男子]選手8名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名、音楽係1名の11名以内</p> <p><u>ウォーミングアップ会場</u> [男子]選手8名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名の11名以内</p>		

【2024年度から適用される事項について】

- ◆ 公認スポーツ指導者資格について
 2019年4月の公益財団法人日本スポーツ協会(以下、JSPO)公認スポーツ指導者制度の改定に伴い、日本体操協会(以下、JGA)でも、健全なスポーツ界の発展に寄与するため、指導者育成の一環として公的資格の更なる普及に努めてまいります。そこで、2024年度より、JGA主催の全日本選手権大会(体操競技・新体操・トランポリン)を対象として、監督・コーチをはじめ競技エリア内で指導や指導補助にあたる関係者には、JSPO公認コーチ資格(コーチ3以上)またはJGAが認定する専門科目修了を義務付けることにいたしました。(JGA日本体操協会HPより引用)
- ◆ 炭酸マグネシウムの利用について
 2024年度より各種大会における「炭酸マグネシウム」の利用廃止が決定しました。つきましては、2023年度はその移行期間として呼びかけ、または粉状の炭酸マグネシウムに代わるものを紹介する予定です。